

表6-6 常用雇用知的障害者の余暇の過ごし方で困っていること

(%)

全 体	10	20	70	80
特 に な い				75.8
何をしたらいいか分からない	4.3			
仲間がいない	8.7			
みんなで過ごせる場所がない	1.2			
自由な時間がない	1.8			
自由に使えるお金がない	2.5			
その他の	2.2			

ト 仕事をする理由

「あなたはなぜ仕事をしているか」と尋ねたところ、「生活していくため」が61.2%と最も多く、次いで「働くのが好きだから」39.3%、「自由に使えるお金がほしい」37.4%、の順で多くなっている。働くことの意義を生活するためだけでなく、社会参加のためと捉えている。

表6-7 常用雇用知的障害者が仕事をする理由（複数回答：2つまで）

(%)

	10	20	30	40	60
働くのが好きだから				39.3	
友達や話し相手がほしい	13.1				
家に居てもすることがない	8.9				
家族や周りの人に働くように言われる	6.7				
自由に使えるお金がほしい				37.4	
生活していくため					61.2
その他の	4.5				

チ 将来に対する不安

「将来に対する不安」があると答えた者は調査対象知的障害者の48.6%であった。これらについて、その理由を見ると「親がいなくなったら生活を助けてくれる人がいなくなる」が43.0%と最も高く、ついで「分からないがなんとなく不安」と漠然と不安を感じている者が22.2%、「今の仕事が続けられるか分からない」と仕事の継続に不安を持っている者が22.0%となっている。

表6-8 常用雇用知的障害者の将来に対する不安

(%)

	10	20	30	40
今の仕事が続けられるか分からない			22.0	
職場の中の良い人がいなくならないか	5.8			
職場で仕事を教えてくれる人がいなくならないか	7.1			
親がいなくなったら生活を助けてくれる人がいなくなる				43.0
分からないがなんとなく不安			22.2	

（「不安がある」とする者＝100）